

・参加者等アンケート集計結果の概要

本事業では、プログラム終了後に、参加者（神奈川会場；子ども・保護者・高齢者、徳島会場；高齢者）及び実行委員に対して、本事業を評価する際の参考とするためアンケート調査を実施した。

以下は、その集計結果の概要である。

また、以下に記述するパーセンテージは小数点第1位を四捨五入等し、合計が100%となるよう調整した。（複数回答を除く）

神奈川会場

1. 子ども（回答者数：125名）

(1) 参加者の性別

参加者の性別は、「男子」が49%、「女子」が51%であった。（表1）
学年では小学生が81%であった。（表2）

表1 性別（問1-1、n；125）

男 性		女 性		総 数	
61名	49%	64名	51%	125名	100%

表2 学年（問1-2、n；125）

幼稚園・保育園		小学生		中学生	
24名	19%	101名	81%	0名	0%

(2) 交通安全について、だれと話すか（複数回答）

ふだん、交通安全のことについて、だれと話すことがあるか、の質問について、「家族」が70%（87名）、次いで「先生」が26%（32名）、「友だち」が22%（28名）、「誰とも話さない」が18%（23名）であった。（表3）

表3 誰と参加（問2、n；125）

先生		家族		友だち		誰とも話さない	
32名	26%	87名	70%	28名	22%	23名	18%

(3) 今日の行事に参加して

今回の行事に参加して、参加者の72%（90名）が「大変良かった」、次いで21%（27名）が「良かった」と回答した。（表4）

表4 今日の行事に参加して(問3、n ; 125)

とてもよかった	90名	72%
よかった	27名	21%
ふつう	6名	5%
よくなかった	1名	1%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	1名	1%

(4) プログラムの評価 無回答には未体験者を含みます

表5 歩行者シミュレーター

とてもよかった	56名	45%
よかった	19名	15%
ふつう	15名	12%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	35名	28%

表6 自転車シミュレーター

とてもよかった	48名	38%
よかった	15名	12%
ふつう	14名	11%
よくなかった	1名	1%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	47名	38%

表7 反射神経を測定

大変良かった	63名	51%
良かった	18名	14%
ふつう	16名	13%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	28名	22%

表8 子ども安全免許証

とてもよかった	74名	59%
よかった	17名	14%
ふつう	13名	10%
よくなかった	1名	1%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	20名	16%

表9 自転車マナークイズ

とてもよかった	72名	58%
よかった	24名	19%
ふつう	14名	11%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	15名	12%

表10 スケアード・ストレイト

とてもよかった	70名	56%
よかった	15名	12%
ふつう	14名	11%
よくなかった	2名	2%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	24名	19%

(5) 参加して感じたこと（複数回答）

行事に参加しての今の気持ちについて、特に「交通ルールや交通マナーを守ろうという気持ちが強くなった」との回答が半数以上を占めた。（表11）

表11 各項目についての今の気持ち（問5、n；125）

交通ルールや交通マナーを守ろうという気持ちが強くなった	70名	56%
道路では、まわりの車や人に十分注意して行動しようという気持ちが強くなった	59名	47%
交通安全についてもっと知りたいという気持ちが強くなった	43名	34%
お年寄りの交通安全についても考えようという気持ちが強くなった	36名	29%
特に変わりはない	2名	2%
無回答	48名	38%

(6) 行事への参加について

これからも、今日のような行事に参加したいか、について、参加者の58%（72名）が「参加したい」と回答した（表12）

表12 今後の参加について（問6、n；125）

参加したい		参加したくない		無回答	
72名	58%	0名	0%	53名	42%

2. 保護者（回答者数：83名）

(1) 参加者の属性

属性

参加者の性別は30%（25名）が男性、女性は70%（58名）であった（表12）。年齢別では40代が63%（52名）、次いで30代以上が30%（25名）となっている。（表13）

表12 参加者の性別（問1 - 1）

男 性		女 性		無回答		総 数	
25名	30%	58名	70%	0名	0%	83名	100.0%

表13 参加者の年齢別内訳（問1 - 2）

20代	1名	1%
30代	25名	30%
40代	52名	63%
50代	2名	3%
60代	1名	1%
70代	1名	1%
80代以上	0名	0%
無回答	1名	1%
総 数	83名	100.0%

運転免許保有の有無

保護者の運転免許保有の有無は、保有者が41%（34名）となったが、無回答が59%（49名）であった。（表14）

表14 運転免許保有の有無（問1 - 3）

あり	34名	41%
なし	0名	0%
無回答	49名	59%
総数	83名	100.0%

(2) 誰と参加していたか

今日の行事に誰と参加したかは、「家族と参加」が92%（76名）であった。（表15）

表15 誰と参加したか（問2）

家族と参加	76名	92%
家族以外と参加	1名	1%
一人で参加	5名	6%
無回答	1名	1%

(3) 今日の行事に参加したきっかけ（複数回答）

今日の行事に参加したきっかけは、「交通安全に興味があった」が49%（41名）と最も多く、次いで「学校やPTA・敬老会からの案内」が47%（39名）であった。（表16）

表16 参加の動機（理由）（問3、複数回答、n；83）

交通安全に興味があった	41名	49%
学校やPTA・敬老会からの案内によって	39名	47%
知人に誘われた	1名	1%
家族に勧められた	9名	11%
おもしろそうだった	22名	27%
子供（孫）が参加している	14名	17%
知り合い（友達）を増やしたかった	1名	1%
その他	6名	7%

(4) 今日の行事に参加して

感想

今回の行事に参加して、参加者の75%（62名）が「大変良かった」、次いで22%（18名）が「良かった」と回答した。（表17）

表17 今日の行事に参加して（問4）

大変良かった	62名	75%
良かった	18名	22%
ふつう	2名	2%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	1名	1%
無回答	0名	0%

プログラムの評価 無回答には未体験者を含みます

表18 歩行者シミュレーター

とてもよかった	34名	41%
よかった	22名	26%
ふつう	9名	11%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	18名	22%

表19 自転車シミュレーター

とてもよかった	29名	35%
よかった	21名	25%
ふつう	10名	12%
よくなかった	0名	0%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	23名	28%

表 20 反射神経を測定

大変良かった	39 名	47%
良かった	21 名	25%
ふつう	8 名	10%
良くなかった	0 名	0%
全然良くなかった	0 名	0%
無回答	15 名	18%

表 21 子ども安全免許証

とてもよかった	32 名	39%
よかった	22 名	27%
ふつう	11 名	13%
よくなかった	1 名	1%
全然よくなかった	0 名	0%
無回答	17 名	20%

表 22 自転車マナークイズ

とてもよかった	43 名	52%
よかった	25 名	30%
ふつう	10 名	12%
よくなかった	0 名	0%
全然よくなかった	0 名	0%
無回答	5 名	6%

表 23 スケアード・ストレイト

とてもよかった	47 名	57%
よかった	14 名	17%
ふつう	5 名	6%
よくなかった	0 名	0%
全然よくなかった	0 名	0%
無回答	17 名	20%

(5) 参加しての今の気持ち

行事に参加しての今の気持ちについて、全ての項目で参加者の約 8 割以上が「気持ちが高まった」と回答した(表 24)。

表 24 各項目についての今の気持ち（問 5、n ; 83）

	はい		いいえ		無回答	
交通ルールや交通マナーを守らなければいけないという気持ちが高まったか	72名	87%	0名	0%	11名	13%
道路状況や交通状況などに十分注意して行動しようという気持ちが高まったか	71名	86%	1名	1%	11名	13%
家族で交通安全について日常的に話し合ったり考えたりすることが大切だという気持ちが高まったか	72名	87%	0名	0%	11名	13%
友人や仲間と交通安全について話し合おうという気持ちが高まったか	71名	86%	1名	1%	11名	13%
地域の子供たちや地域の皆さんを、交通事故から守ろうという気持ちが高まったか	71名	86%	1名	1%	11名	13%
交通安全のためにあなた自らが地域で何か役割を果たそうという気持ちが高まったか	69名	83%	3名	4%	11名	13%
これからも機会があれば交通安全教室に参加しようという気持ちが高まったか	72名	87%	0名	0%	11名	13%
地域の子供たちや地域の皆さんと関わろうという気持ちが高まったか	70名	84%	2名	3%	11名	13%

(6) 開催日（曜日を含む）について

開催日について、参加者の 87%（72 名）が「良かった」と回答した（表 25）

表 25 開催日（曜日を含む）について（問 6 - 1、n ; 83）

良かった		良くなかった		無回答	
72名	87%	0名	0%	11名	13%

(7) 行事全体の時間の長さについて

行事全体の時間の長さについて、参加者の 76%（63 名）が「良かった」と回答した。（表 26）

表 26 行事全体の時間の長さについて（問 6 - 2、n ; 83）

良かった		長かった		短かった		無回答	
63名	76%	2名	2%	7名	9%	11名	13%

(8) 参加者の数について

参加者の数について、参加者の 72%（60 名）が「良かった」と回答した。（表 27）

表 27 参加者の数について（問 6 - 3、n ; 83）

良かった		多かった		少なかった		無回答	
60名	72%	5名	6%	7名	9%	11名	13%

(9) プログラム（種目）の数について

プログラム（種目）の数について、参加者の 80%（66 名）が「良かった」と回答した。（表 28）

表 28 プログラム（種目）の数について（問 6 - 4、n ; 83）

良かった		多かった		少なかった		無回答	
66名	80%	1名	1%	5名	6%	11名	13%

(10) 各プログラム（種目）の中での説明の仕方について

各プログラム（種目）の中での説明の仕方について、参加者の85%（70名）が「良かった」と回答した。（表29）

表29 各プログラム（種目）の中での説明の仕方について（問6-5、n；83）

良かった		良くなかった		無回答	
70名	85%	2名	2%	11名	13%

(11) 全体の流れ（進行）について

全体の流れ（進行）について、参加者の86%（71名）が「良かった」と回答した。（表30）

表30 全体の流れ（進行）について（問6-6、n；83）

良かった		良くなかった		無回答	
71名	86%	1名	1%	11名	13%

3. 実行委員（回答者数：17名）

(1) 実行委員の属性

実行委員の性別は、男性が71%（12名）、女性が23%（4名）、無回答6%（1名）だった。（表31）

年齢別では、「30代」、「40代」で64%（11名）であった。（表32）

表31 実行委員の性別（問1-1）

男性		女性		無回答		総数	
12名	71%	4名	23%	1名	6%	17名	100%

表32 実行委員の年齢別内訳（問1-2）

10代	1名	6%
20代	2名	12%
30代	6名	35%
40代	5名	29%
50代	2名	12%
無回答	1名	6%
総数	17名	100%

また、実行委員の所属は、行政が41%（7名）、警察が6%（1名）、ブース運営団体スタッフが53%（9名）であった。（表33）

表33 実行委員の所属・種別

老人クラブ・老人会	0名	0%
町内会・自治会	0名	0%
婦人会	0名	0%
交通安全協会	0名	0%
交通安全母の会	0名	0%
行政	7名	41%
警察	1名	6%
ブース運営団体	9名	53%
その他	0名	0%
総数	17名	100%

(2) プログラムの評価について

自身の地区のプログラムの評価について、実行委員の47%(8名)が「大変良かった」、53%(9名)が「良かった」と回答した。(表34)

表34 今日の行事は(問2-1)

大変良かった	8名	47%
良かった	9名	53%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

プログラム評価(問2-2)

表35 ブースによる展示・体験

大変良かった	8名	47%
良かった	9名	53%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

表36 スケアード・ストレイト

大変良かった	10名	59%
良かった	7名	41%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

(3) 本事業で達成できたと思うことについて(複数回答)

本事業を実施し、参加者に期待したことで、達成できたと思うことについて、実行委員の88%(15名)が「交通ルールや交通マナーの大切さを理解してもらおう」と回答した。(表37)

表37 達成できたと思うこと(問3)

交通ルールや交通マナーの大切さを理解してもらおう	15名	88%
三世代がお互いの立場を理解し合い、お互いを守ろうという気持ちが高まる	3名	18%
お互いが顔見知りになり、挨拶や声掛けができる雰囲気になってもらう	2名	12%
各世代が、交通安全に果たす役割を自覚する	8名	47%
今日の行事がきっかけとなって、地域の交通安全活動への参加意欲が高まる	9名	53%
家庭や地域の中で、交通安全について話し合う大切さを知ってもらう	13名	76%
その他	0名	0%
無回答	0名	0%

(4) 交通ボランティア活動の実践の場としての、本事業の評価

本事業に、実行委員として参加いただいたことで、交通安全教育などの知識や技術向上の機会となったかについて

実行委員の65%(11名)が「役に立った」、35%(6名)が「大変役立った」と回答した。(表38)

表38 知識や技術向上の機会となったか(問4-1)

大変役立った	6名	35%
役に立った	11名	65%
ふつう	0名	0%
役立たなかった	0名	0%
全然役立たなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

本事業に参加いただいたことによって、有益だったことについて(複数回答)実行委員の53%(9名)が「行政や警察、他団体との連携について」と回答した。(表39)

表39 有益だったと思うこと(問4-2)

交通安全に関する知識の習得について	8名	47%
交通安全教育を行う際の指導方法について	3名	18%
交通安全教室実施のための企画立案について	5名	29%
交通安全教室の運営について	8名	47%
交通安全教室で使用する道具等の制作・調達について	5名	29%
行政や警察、他団体との連携について	9名	53%
その他	0名	0%
無回答	0名	0%

本事業に参加いただいたことにより、今後の交通安全活動に活用される予定について、59%(10名)が「活用していきたい」と回答した。(表40)

表40 今後の活用予定について(問4-3)

活用していきたい	10名	59%
一部活用していきたい	6名	35%
どちらともいえない	0名	0%
活用することは難しい	0名	0%
無回答	1名	6%

本事業への参加を契機として、今後同様（又は類似）の体制で交通安全教室を実施したいと思うか、またそれは現実的に可能かについて
 実行委員の82%（14名）が「実施したいし、可能だと思う」、と回答した。（表41）

表41 継続実施に向けての意欲と可否（問4-4）

実施したいし、可能だと思う	14名	82%
実施したいが、困難だと思う	2名	12%
実施したいと思わない	0名	0%
どちらともいえない	0名	0%
無回答	1名	6%

（5）本事業以外で、交通ボランティア活動に必要な知識や技術などを向上させるためにはどのような機会が必要だと思うか。（自由記述）

- ・スケアードは有効。屋外での展示がもっとあれば良かったと思う。
- ・交通安全週間等での取り組み
- ・行政が主体となってイベント参加の機会を増やす事が必要。
- ・経験ができる、もう少し多くの活動の場が必要。
- ・各団体の実施内容の共有化。
- ・指導者等の講習を受ける機会。
- ・ボランティア活動実施団体向けの研修。
- ・交通事故データの共有。
- ・警察等から最新の事故状況等の情報を得る。

（6）今回、本事業に取り組んだことで、あなた自身に意識の変化や再認識したことがあったか。（自由記述）

- ・あらためて交通安全の大切さを認識した。
- ・地域として行う事が家庭で考える良いきっかけとなった。
- ・数多くの子ども達が交通に関する知識を持ち合わせていた。
- ・交通安全に興味を持っている家族が多い事。
- ・交通安全に取り組むことの重要性。
- ・スケアードを初めて見て、交通安全に一層気を付けようと感じた。
- ・スケアードは実際の事故の恐ろしさを体感できるので効果が高いと感じた。

（7）本事業に対する意見や提言について。（自由記述）

- ・高校生たちが前に立って声をかけてくれていたのが良かった。
- ・交通安全に対して様々なアプローチがあることを学んだ。
- ・スケアードはリアルで参加者に効果的であった。
- ・交通安全を考えるうえで大変良い機会でした。
- ・もう少し広い会場での開催。
- ・周知が弱いかと心配したが、結果として来場者が多数だったので良かった。

徳島会場

1. 参加者（回答者数：70名）

(1) 参加者の属性

属性

参加者の性別は男性が70%（49名）、女性が30%（21名）であった（表1）。

年齢別では70代が59%（41名）、次いで80代が23%（16名）となっている。（表2）

表1 参加者の性別（問1 - 1）

男性		女性		無回答		総数	
49名	70%	21名	30%	0名	0%	70名	100%

表2 参加者の年齢別内訳（問1 - 2）

20代	1名	1%
30代	0名	0%
40代	0名	0%
50代	0名	0%
60代	11名	16%
70代	41名	59%
80代以上	16名	23%
無回答	1名	1%
総数	70名	100%

運転免許保有の有無

運転免許保有の有無は、保有者が80%（56名）であった。（表3）

表3 運転免許保有の有無（問1 - 3）

あり	56名	80%
なし	7名	10%
無回答	7名	10%
総数	70名	100%

(2) 今日の行事に参加したきっかけ（複数回答）

今日の行事に参加したきっかけは、「市町等・敬老会からの案内」が79%（55名）と最も多く、次いで「交通安全に興味があった」が30%（21名）であった。（表4）

表4 参加の動機（理由）（問2、複数回答、n；70）

交通安全に興味があった	21名	30%
市町等・敬老会からの案内によって	55名	79%
知人に誘われた	12名	17%
家族に勧められた	1名	1%
おもしろそうだった	5名	7%
その他	0名	0%

(3) 今日の行事に参加して

感想

今回の行事に参加して、参加者の86%(60名)が「大変良かった」、次いで14%(10名)が「良かった」と回答した。(表5)

表5 今日の行事に参加して(問3)

大変良かった	60名	86%
良かった	10名	14%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

プログラムの評価

表6 自転車実技テスト

とてもよかった	27名	39%
よかった	35名	50%
ふつう	3名	4%
よくなかった	3名	4%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	2名	3%

表7 自転車学科テスト

とてもよかった	27名	39%
よかった	34名	49%
ふつう	4名	5%
よくなかった	2名	3%
全然よくなかった	0名	0%
無回答	3名	4%

表8 スケアード・ストレイト

大変良かった	45名	64%
良かった	19名	27%
ふつう	3名	4%
良くなかった	1名	2%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	2名	3%

(4) 参加しての今の気持ち

行事に参加しての今の気持ちについて、全ての項目で参加者のほぼ全員が「気持ちが高まった」と回答した。(表9)

表9 各項目についての今の気持ち（問4、n；70）

	はい		いいえ		無回答	
	名	%	名	%	名	%
交通ルールや交通マナーを守らなければいけないという気持ちが高まったか	70名	100%	0名	0%	0名	0%
道路状況や交通状況などに十分注意して行動しようという気持ちが高まったか	70名	100%	0名	0%	0名	0%
友人や仲間と交通安全について話し合おうという気持ちが高まったか	70名	100%	0名	0%	0名	0%
地域の子供たちや地域の皆さんを、交通事故から守ろうという気持ちが高まったか	70名	100%	0名	0%	0名	0%
交通安全のためにあなた自らが地域で何か役割を果たそうという気持ちが高まったか	67名	96%	2名	3%	1名	1%
これからも機会があれば交通安全教室に参加しようという気持ちが高まったか	69名	99%	1名	1%	0名	0%

(5) 開催日（曜日を含む）について

開催日について、参加者の97%（68名）が「良かった」と回答した。（表10）

表10 開催日（曜日を含む）について（問5-1、n；70）

良かった		良くなかった		無回答	
68名	97%	2名	3%	0名	0%

(6) 行事全体の時間の長さについて

行事全体の時間の長さについて、参加者の90%（63名）が「良かった」と回答した。（表11）

表11 行事全体の時間の長さについて（問5-2、n；70）

良かった		長かった		短かった		無回答	
63名	90%	7名	10%	0名	0%	0名	0%

(7) 参加者の数について

参加者の数について、参加者の93%（65名）が「良かった」と回答した。（表12）

表12 参加者の数について（問5-3、n；70）

良かった		多かった		少なかった		無回答	
65名	93%	2名	3%	3名	4%	0名	0%

(8) プログラム（種目）の数について

プログラム（種目）の数について、参加者の93%（65名）が「良かった」と回答した。（表13）

表13 プログラム（種目）の数について（問5-4、n；70）

良かった		多かった		少なかった		無回答	
65名	93%	3名	4%	2名	3%	0名	0%

(9) 各プログラム(種目)の中での説明の仕方について

各プログラム(種目)の中での説明の仕方について、参加者の96%(67名)が「良かった」と回答した。(表14)

表14 各プログラム(種目)の中での説明の仕方について(問5-5、n;70)

良かった		良くなかった		無回答	
67名	96%	3名	4%	0名	0%

(10) 全体の流れ(進行)について

全体の流れ(進行)について、参加者の99%(69名)が「良かった」と回答した。(表15)

表15 全体の流れ(進行)について(問5-6、n;70)

良かった		良くなかった		無回答	
69名	99%	1名	1%	0名	0%

2. 実行委員（回答者数：19名）

（1）実行委員の属性

実行委員の性別は、男性が90%（17名）、女性が10%（2名）だった。（表16）

表16 実行委員の性別（問1-1）

男性		女性		無回答		総数	
17名	90%	2名	10%	0名	0%	19名	100%

また、実行委員の所属は、交通安全協会が42%（8名）で最も多く、次いで、老人クラブが26%（5名）であった。（表17）

表17 実行委員の所属・種別（問1-3）

老人クラブ・老人会	5名	26%
町内会・自治会	1名	5%
婦人会	0名	0%
交通安全協会	8名	42%
交通安全母の会	0名	0%
行政	2名	11%
警察	3名	16%
その他	0名	0%
総数	19名	100%

（2）プログラムの評価について

自身の地区のプログラムの評価について、実行委員の53%（10名）が「大変良かった」、47%（9名）が「良かった」と回答した。（表18）

表18 今日の行事は（問2-1）

大変良かった	10名	53%
良かった	9名	47%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

プログラム評価（問2-2）

表19 自転車実技テスト

大変良かった	6名	32%
良かった	13名	68%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

表 20 自転車学科テスト

大変良かった	6名	32%
良かった	13名	68%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

表 21 スケアード・ストレイト

大変良かった	14名	74%
良かった	5名	26%
ふつう	0名	0%
良くなかった	0名	0%
全然良くなかった	0名	0%
無回答	0名	0%

(3) 本事業で達成できたと思うことについて(複数回答)

本事業を実施し、参加者に期待したことで、達成できたと思うことについて、実行委員の全員が「交通ルールや交通マナーの大切さを理解してもらおう」と回答した。(表 22)

表 22 達成できたと思うこと(問3)

交通ルールや交通マナーの大切さを理解してもらおう	19名	100%
お互いが顔見知りになり、挨拶や声掛けができる雰囲気になってもらう	2名	11%
家庭や地域の中で、交通安全に果たす役割を自覚する	10名	53%
今日の行事がきっかけとなって、地域の交通安全活動への参加意欲が高まる	10名	53%
家庭や地域の中で、交通安全について話し合う大切さを知ってもらう	9名	47%
その他	0名	0%

(4) 交通ボランティア活動の実践の場としての、本事業の評価

本事業に、実行委員として参加いただいたことで、交通安全教育などの知識や技術向上の機会となったかについて

実行委員の58%(11名)が「役に立った」、42%(8名)が「大変役立った」と回答した。(表 23)

表 23 知識や技術向上の機会となったか(問4-1)

大変役立った	8名	42%
役に立った	11名	58%
ふつう	0名	0%
役立たなかった	0名	0%
全然役立たなかった	0名	0%

本事業に参加いただいたことによって、有益だったことについて（複数回答）
 実行委員の63%（12名）が「交通安全に関する知識の習得について」と回答した。（表24）

表24 有益だったと思うこと（問4-2）

交通安全に関する知識の習得について	12名	63%
交通安全教育を行う際の指導方法について	11名	58%
交通安全教室実施のための企画立案について	4名	21%
交通安全教室の運営について	3名	16%
交通安全教室で使用する道具等の制作・調達について	2名	11%
行政や警察、他団体との連携について	11名	58%
その他	0名	0%

本事業に参加いただいたことにより、今後の交通安全活動に活用される予定について、90%（17名）が「活用していきたい」と回答した。（表25）

表25 今後の活用予定について（問4-3）

活用していきたい	17名	90%
一部活用していきたい	2名	10%
どちらともいえない	0名	0%
活用することは難しい	0名	0%

本事業への参加を契機として、今後同様（又は類似）の体制で交通安全教室を実施したいと思うか、またそれは現実的に可能かについて
 実行委員全員が「実施したいし、可能だと思う」と回答した。（表26）

表26 継続実施に向けての意欲と可否（問4-4）

実施したいし、可能だと思う	19名	100%
実施したいが、困難だと思う	0名	0%
実施したいと思わない	0名	0%
どちらともいえない	0名	0%

（5）本事業以外で、交通ボランティア活動に必要な知識や技術などを向上させるためにはどのような機会が必要だと思うか。（自由記述）

- ・自転車シミュレーターやサポートカー体験など、新しい教材を知ることが大切だと思った。自分が知り、体験することで効果的な研修を企画できる。
- ・関係団体相互の連携に尽きると思います。
- ・交通安全講習会（協議会）等の機会を多くすること。
- ・町内会、自治会でも交通安全教室を多くすることが必要。

(6) 今回、本事業に取り組んだことで、あなた自身に意識の変化や再認識したことがあったか。(自由記述)

- ・歩行者、自転車、自動車。どの立場でも交通安全を守りたいと思います。
- ・高齢者の運転機能が、本人が自覚しているより低いことを感じた。
- ・高齢者が増え、交通安全に対する考え方が変わった。防衛運転が大切。

(7) 本事業に対する意見や提言について。(自由記述)

- ・直前になって決まることがいくつかあった。対応に苦労するので、もっと早めに決めていただきたい。
- ・スケアードストレイトを盛り込んだ交通安全講習は、今後も続けていくべき。
- ・今後も続けるべきだと思います。
- ・大変良かった。毎年できるように。
- ・スケアードストレイトは非常に良い体験であったので、もっと広く多くの方に見学する機会を作れば良いのと思う。

